

## 2019年度 教員免許状更新講習（小学校教諭対象）

日 程 8月6日（火）～8日（木）（予備日8月9日）

講習内容 選択領域 D 18時間（6時間×3日）

<b>講習題目</b> 小学校各教科についての課題と展望	
<b>講習概要</b> 小学校教員を対象とした内容で、各教科（国語、社会、算数、理科）や特別活動、特別支援教育について教育現場に精通した講師によって、学習指導要領の改訂の経緯から、具体的な教育方法、教科内容の背景に至るまで、大学ならではの情報を提供することにより、今後の教育活動に資するものとする。	
8 月 6 日	<p><b>1</b></p> <p><b>授業題目</b> 楽しく学び確かな言語力がつく国語科授業づくり</p> <p><b>講 師</b> 大石 正廣（教育学部 教育学科教授）</p> <p><b>授業概要</b> 国語科学力の確実な習得、その応用力や汎用力だけでなく、活用力を育むために「確かな言語力」を育成する授業づくりが 求められています。「言語力」はあらゆる学習に必要な思考力・判断力・表現力の基盤となるものです。これらのことを踏まえ、楽しく学び確かな言語力が身に付く学習指導法について、実践事例を取り上げ考えます。</p>
	<p><b>2</b></p> <p><b>授業題目</b> 特別活動とキャリア教育</p> <p><b>講 師</b> 秋山 麗子（教育学部 教育学科教授）</p> <p><b>授業概要</b> 新学習指導要領では、特別活動は「キャリア教育の要」として取り組むことが求められています。小学校におけるキャリア教育について考え、従来から取り組まれてきている特別活動をどのように見直していけばよいのかを、実践に結び付く具体的な取り組みや事例を挙げながら考えていきます。</p>
8 月 7 日	<p><b>3</b></p> <p><b>授業題目</b> 理科を楽しく教える</p> <p><b>講 師</b> 内田 祐貴（教育学部 教育学科准教授）</p> <p><b>授業概要</b> 小学校理科で使える実践的知識技術という観点から、講義と実験演習を行います。講義では、最近の理科教育の動向や、現状、さらには、新しい教育法について解説を行います。実験演習では、実験器具から自作できる実験教材を実際に作成し、実験を行い、教える側も楽しいと思える理科教育について考えていきます。</p>
	<p><b>4</b></p> <p><b>授業題目</b> 算数の好きな子を育てるための授業づくり</p> <p><b>講 師</b> 尾上 昭（教育学部 教育学科教授）</p> <p><b>授業概要</b> 新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学びを目指した算数科授業」を創ることが願われています。そのためには、算数科学習に関心をもち、よりよい授業実践に向けた教材研究、個に応じたきめ細かな指導、指導と評価の一体化等が不可欠です。そこで、算数の好きな子を育てるための授業づくりについて、具体的に考えていきます。</p>
8 月 8 日	<p><b>5</b></p> <p><b>授業題目</b> 分かる喜び、共に学ぶ楽しさのある社会科授業</p> <p><b>講 師</b> 村岡 弘朗（教育学部 教育学科教授）</p> <p><b>授業概要</b> 「主体的・対話的な深い学び」が求められている。どのように授業の中で実現していくのか、新学習指導要領の目標及び内容、育成すべき資質や能力を丹念にみながら、具体的な教材開発の仕方、単元づくり、1時間の授業づくりを考えていく。また、一人一人に学習が成立していくよう評価の在り方についても考えていきたい。</p>

8 月 8 日	6	<p><b>授業題目</b> 小学校における特別支援教育と家族支援のあり方</p> <p><b>講 師</b> 谷川弘治（教育学部 教育学科教授）・金丸彰寿（教育学部 教育学科講師）</p> <p><b>授業概要</b></p> <p>多様な人々が共に生きる社会（多様性の承認と保障）を目指すインクルーシブ教育を創り出す上で、特別支援教育の役割は重要です。そこでは、特別なニーズのある子どもとその家族が自分らしい生活を営み、両者の発達を保障するようサポートすることが大切です。本講習では、小学校における特別支援教育の動向や現状を押さえつつ、子どもの発達を支える教育実践及び家族支援のあり方について考えていきます。</p>
------------------	---	--